

情報連絡員だより

ー平成 27 年 10 月分の報告よりー

非製造業では人手不足の対応に苦慮

業 種 / 景 況 天 気 図			概 況
全 体			依然として国内需要の低迷・海外経済の減速懸念により今後の不透明感が続く見込みで、厳しい状況には変化がない様子。また、非製造業では人手不足に悩んでいる業種も多く、今後の対応に苦慮している。
	食 料 品		パンは原材料の高騰で仕入の苦労が続く。菓子は天候に恵まれ行事も多く、落ち込みなく例年並みに推移。製麺は生・乾麺とも企業間格差が散見される。酒造は吟醸・純米系は好調、普通酒と本醸造酒は低調。
	繊維・同製品		桐生織物は和装織物の展示販売会等を開催するも低調に推移。伊勢崎織物は贈答用として服飾工芸品の需要が多いが、原材料の高止まりで厳しさが続く。繊維製品は温暖なため秋冬物の取引が遅れている。
	窯業・土石製品		生コンは渋川・吾妻地区の出荷量は伸びたが全体的には低調に推移。コンクリートブロックは住宅着工戸数が回復傾向で今後に期待。コンクリート製品は売上高がマイナスで推移。砕石は販売価格上昇も売上減少。
	機 械 ・ 金 属		中国経済減速や国内在庫調整等の影響による業況の冷え込みを不安視。プラスチック金型は受注が回復傾向。鍍金は比較的安定推移したが、今後を懸念。大手企業の賃上げに伴うコストダウン要請が散見。
	その他の製造業		木材は原材料高の製品安が続く。紙加工品は、通販・食品・自動車関連等は引き続き好調だが、販売価格の下落傾向がみられ、全体的には厳しい状況が続く。印刷は大・小規模問わず、業界全体で 2-3 割の売上減少。
	卸 売 業		太田卸団地は非鉄金属卸が自動車メーカー等の海外進出に伴い売上減少傾向。高崎卸団地はマイナンバー導入で事務量の増加に苦慮。農産物卸は野菜の高値が続き売上増加。水産物卸は鍋の季節となり今後に期待。
	小 売 業		家電小売は高価格の 4K テレビが売上を押し上げている。自動車小売はオークションの出品件数が若干減少するも成約単価は上昇。商店街は秋物商品のバーゲン期だが人出が少ない。燃料小売は前年比 30 円/ℓ 安が続く。
	サ ー ビ ス 業		温泉旅館は天候に恵まれた紅葉シーズンに加え、プレミアム宿泊券の利用率上昇により売上増加だが、人手不足が今後の課題。建物設計は住宅着工戸数の伸びに伴い、住宅設計監理も同様に前年比増の傾向で今後に期待。
	建 設 業		防水工事の仕事量は増えつつあるが、苦戦が続く。電気工事は大・小規模による受注の二極化が見られ、小規模は厳しい状況が続く。塗装工事は人手不足により工期の対応に苦慮。鉄構は見積もり物件が減少。
	運 輸 業		自動車・機械関連は減少し、全体としても荷動きは低調に推移。労働時間短縮のため高速道路利用料が増加、年末に向けて人手不足を懸念。小口輸送は医薬品輸送が堅調で件数は増加するも全体的な売上は減少。